

なばため

生天目の陣 歴史講演会の案内



・著書「野中兼山と谷秦山の真実の罪」発刊記念 講演会
・参加無料 ・定員100名(先着)までとします。別途資料有り(有料)



演 題:歴史本「野中兼山と谷秦山の真実の罪」について

副 題:土佐藩の陰謀説「武田勝頼の一族抹殺事件」 歴史に絡む女性たち

☆講演会冒頭 真田忍者演武、甲陽流忍術の演武を発表「演者 伊与久松鳳氏」

講 師: 著者 岡林 照壽 氏

日 時: 令和5年 3月11日(土) 午後1時半～2時45分(終了4時)

場 所: 吾川郡仁淀川町大崎460-1 仁淀川町交流センター 3階大会議室

＜甲斐武田家の当主の血を引き継いだ子供達「谷秦山・宿毛に幽閉された野中兼山の子供達」＞



講師プロフィール

岡林 照壽

武田の里 大崎の陣“まいさる”ガイド

仁淀川町大崎 出身 76才

旧吾川村役場 教育長歴任

武田勝頼土佐の会 会長

仁淀川町文化財保護審議会 会長

中央地区文化財保護連絡協議会 監事

大崎八幡宮 前宮司24世



野中兼山と谷秦山の真実の罪

土佐藩の陰謀説「武田勝頼一族の抹殺事件」

歴史に絡む女性たち

著者 岡林照壽

* パネルディスカッション 休憩に続いて行います

＜ 戦国の歴史に関わる著名人を招いての トークショー ＞午後3時～4時

テーマ: 武田勝頼土佐生存説と、町おこしについて！！

コーディネーター: 坂本世津夫氏

パネリスト : 片岡昌一氏 ・伊与久松鳳氏 ・中津攸子氏 ・岡林照壽氏



坂本世津夫氏は、愛媛大学社会連携推進機構教授(地域連携コーディネーター)地域情報化アドバイザー(総務省)、地域活性化伝道師(内閣官房)、一般社団法人日本テレワーク協会アドバイザー、現代龍馬学会(理事)、マイルドさ国党(党首)、立命館大学高知県校友会(理事)、立命館大学経営学部校友会(幹事)



片岡昌一氏は、最後の平家の著者でもあり、わがルーツを研究する中で源平合戦の戦いは山口の壇ノ浦ではなく、屋島の檀ノ浦との説を主張し、最後の武田では設楽原の戦いでは武田方の布陣は反対だったとか、勝頼は影武者説を取り、土佐に来たと自説を問いつけています。現在は秦氏について執筆中です。



伊与久松鳳氏は、真田忍者研究会会長、長野県諏訪郡富士見町に在住、武道(日本古武道、甲陽流忍術)ほか、太極拳、気功中国武術、空手道などを習得、各種健康法、養生法、舞踊などを指導などを行う。神社などでの行事にも取り組み、忍術の子供教室などの指導など広く活躍している方です。



中津攸子氏は、女流作家・日本ペンクラブなどに所属広く知られた方です。武田家の女達などの小説が有ります。最近では「新説源義経の真実」、「東北は国のまほろば(日高見国の面影)」や、「かぐや姫」など古代歴史は得意分野で戦国時代特に武田信玄に関する図書が多いかたで今回は4回目の来町となります。



岡林照壽氏は、平成20年10月16日武田勝頼土佐の会を立ち上げる。会長として今日まで史蹟を活用した町歩きガイドなどで町おこしに奮闘している。独自の歴史研究と影武者説から武田勝頼は土佐に落ち延びて長宗我部氏と共に活躍したことや、側室や子供達が土佐藩との繋がりにから事件に巻き込まれる根拠を発表。

案 内

○ 主 催 武田勝頼土佐の会

○ 後 援 仁淀川町教育委員会 仁淀川町観光協会 仁淀川町の観光を考える会
高知新聞社 RKC高知放送

* 参加申込み: 3月10日までに電話・FAX・メールにて、下記までご連絡下さい。(名前・住所)予約優先
781-1501 高知県吾川郡仁淀川町大崎340-1 武田勝頼土佐の会 担当: 岡林
TEL/FAX 0889-20-2003 携 帯 080-6392-5327
プロブ <http://terutosi.blog.fc2.com/> メール kindsea@shirt.ocn.ne.jp